

令和3年度 施策評価シート

基本目標		地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる
政策	220	区民が安全・快適・便利に暮らし、人々の交流が生まれ、移動しやすいまちをつくる
施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する
施策の目標	鉄道立体化による踏切事故防止や渋滞解消、また、道路のバリアフリー化等により、誰もが安全・安心で快適に暮らせる交通環境が整備されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	道路バリアフリー整備延長									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				13,080m					14,630m
実績	10,290m									
指標名	「区内の交通環境に満足している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				82.0%					85.0%
実績	79.0%				82.0%					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
鉄道沿線3区1市で促進連絡協議会を開始し、未整備路線の早期建設に向けた情報共有や調査研究を行っているが、事業主体や費用負担などの課題が多く、事業推進が難しい。	H30	500
	R1	500
	R2	500

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	地下鉄建設を促進するための調査・研究は必要だが、調査の内容などの見直しが必要である。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
鉄道の沿線自治体で協議会を設置しており、延伸のための調査・検討の継続が必要である。	
【今後の具体的な方針】	
事業着手までは沿線自治体の他に、国、都、県との調整を進め、調査研究及び要請活動を継続する。まずは第1段階区間である地下鉄8号線(豊洲～住吉間)の早期事業化を推進する。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	地下鉄8・11号線の 建設促進	500	1,764	2,264	-	現状維持
					-	令和2年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和3年度 事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	地下鉄8・11号線の建設促進		1
目的	墨田区、江東区、葛飾区、松戸市沿線3区1市により「地下鉄8・11号線促進連絡協議会」を設置し、要請行動等を実施することで、東京圏の新たな鉄道ネットワークを担う地下鉄整備の早期実現を目指す。		主管課・係（担当）
			都市計画課都市計画・開発調整担当 03-5608-6265
対象者	区民、鉄道事業者、国、都		
根拠法令 関連計画	・東京都「広域交通ネットワーク計画について」 ・交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤4
事業内容	平成27年7月に東京都が交通政策審議会答申に向けた検討として「広域交通ネットワーク計画について」をとりまとめた。その中で8号線（豊洲～住吉）が「整備について優先的に検討すべき路線」とされ、8号線（押上～野田）、11号線（押上～松戸）は「整備について検討すべき路線」と位置付けられた。 平成28年4月の交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において地下鉄8・11号線の延伸について、具体的なプロジェクトの検討結果が示された。この答申内容を踏まえ、地下鉄8・11号線延伸の早期実現に向けた今後の事業方針の検討を進めている。		
経過	開始年度	昭和61年度	終了予定
	未定		
経過	昭和63年11月8日 第1回住民決起大会開催 平成5年6月23日 11号線の水天宮前から押上までの延伸事業免許取得 平成10年12月17日 営団は平成12年度開業予定を平成15年春にすると発表 平成14年8月29日 水天宮前から押上までの開業時期発表 平成15年3月19日とする 平成15年3月19日 水天宮前から押上まで延伸開業、東武線との相互乗り入れ開始 平成16年度～ 住民決起大会の中止（昭和36年～平成15年16回開催） 平成27年7月 東京都が「広域交通ネットワーク計画について」をまとめる。 平成28年4月 交通政策審議会答申に8・11号線延伸の検討結果が示される。 平成29年度 「みんなの力で」ばそう地下鉄、パンフレット改訂 平成30年度 沿線開発動向調査 令和元年度 地下鉄8号線・11号線の建設に向けた調査研究		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 江東区が中心となって地下鉄8号線（豊洲～住吉間）の早期事業化に向け取り組んでいる。		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		500	500	500	500	500	500
A.決算額（令和3年度は見込み）		500	500	500	500	500	500
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		500	500	500	500	500	500
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト				1,969	1,748	1,764	
総事業決算額（A+B）		500	500	2,469	2,248	2,264	
主な事業費用の説明		・地下鉄8・11号線促進連絡協議会分担金					
予算書P（令和3年度）	P225 19	執行実績報告書P（令和2年度）			P168 20		

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	地下鉄8・11号線の調査研究、要請行動等				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R7	目 標	1	1	1	1
				実 績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	1	1	1	1	1	1
	実 績	1						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	鉄道沿線3区1市で、適宜促進連絡協議会等を開催することにより、未整備路線の早期建設に向けて取り組む。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標					単 位	
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
			目 標					
			実 績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標								
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
現在のところ事業スケジュール未定のため、成果指標の設定はできないが、まずは地下鉄8号線(豊洲～住吉間)の早期事業化に向け引き続き取り組む。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公共交通網の整備は、区民の交通利便性の向上に寄与するものであり、地下鉄建設を促進するには、事業の有効性の根拠となる調査研究を継続的に取り組むべきである。よって、鉄道の沿線自治体による促進連絡協議会により、延伸のための調査・検討を継続して行う。まずは第1段階区間である地下鉄8号線(豊洲～住吉間)の早期事業化を推進する。

課題・問題点
事業主体や費用負担などの課題が多く、事業推進が難しいが、全線整備を視野に調査研究を継続している。事業着手までは沿線自治体の他に、国、都、県との調整を進め、調査研究及び要請活動を継続する必要がある。